

「治療の影響で髪が抜けます」と言われたら…

抗がん剤治療を始める前に

アピアランスケアを考える時のヒント

※ アピアランスケア…けがや病気、治療による見た目の変化に対するケアのこと。

脱毛に対するショックや不安が大きい中で考えることになりがちですが、
そもそもなぜウィッグをつけるのでしょうか？

「世間体や社会性に対する備え」という点はもちろん重要です。

「いつも通りの自然さ」を尊重したい

ウィッグをつけた印象を左右するのは
普段の雰囲気、髪のカセ、頭の形など…

あなたはどうか？

必要なものだから、とにかく早く！でいい？

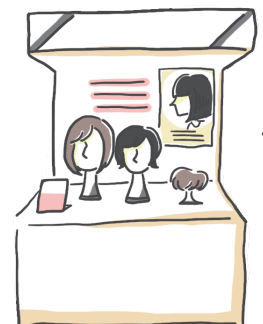
「高確率で脱毛すると治療方針を告げられた後（治療に入る前）に、とても焦ってしまい、自分でもよく解らないまま30万円近くするウィッグを購入したが、結局一度も使っていない。」という残念な声がとても多い…。

よく聞く患者さんの本音

自分の個人情報や
治療のことを話す
ことに抵抗がある

売り場は
数居が高い

カタログと実際
のイメージが
全然ちがう



臨床化粧療法士® が伝えたい考え方のヒント

- ・ 本当に必要かどうか自分自身の心と対話する時間を持つ
- ・ 脱毛の程度や経過に合わせて予算と理想を擦り合わせてゆける
- ・ メーカーなどの垣根なく匿名のまま相談ができる
- ・ 市によっては、医療用途のウィッグ助成金で補助が受けられる
- ・ ウィッグ以外の選択肢もある

例えば…ウィッグに抵抗のあるという方や、
頭皮にスキントラブルのある方はヘッドスカーフの応用も。



今焦らずとも、これから必要に応じてゆっくり考えられます

臨床化粧療法士® が「抜けてから一緒に考えましょう」と伝える理由

- ・ 今、最も専念すべきことは治療
- ・ 毛髪に限らず脱毛の有無や抜け方は人それぞれ
- ・ メーカー / 色 / 形 / 買い方、選択肢はたくさんある
- ・ 脱毛前と脱毛後では頭の形（ボリューム）が大きく変化する



実際に購入まで寄り添った患者さんの声

髪が抜けますと言われた時は、見た目が変わる事への不安と恐怖で頭がいっぱいだったけど、実際治療が始まったら、体調が悪くてそれどころではなくなった。

抜けないで！抜けないで！と思っていたけど、抜け始めたらバラバラと始末に困り、抜けるなら一気に全部抜けて！と思った。

子供の学校行事など、TPOに合わせて2つのウィッグを用意しようと決めていたけど、1つで十分だとわかった。

すでに購入済みのお悩みでも、色々やってみただけど上手くいかないというお悩みでも、臨床化粧療法士® は何かしらの解決策を見出すために、患者さんの声に耳を傾けます。

臨床化粧療法士® の
見つけ方・相談したい方

<https://japanclinical-cta.org/soudan/>

一般社団法人日本臨床化粧療法士協会

